

# 月報

24号

発行所

青丘文庫

発行★韓 哲 曉 編集★金 慶 浩  
〒654 神戸市須磨区須磨寺町4-3-1  
メゾンド青丘ビル2階  
TEL (078) 734-5989

## 古本屋閑話

金 英 達

昨年の三月、東京本郷の古書店、伸松堂からハギヤが来た。法務省入国管理局の部内資料「入管月報」の新しいところがまとまって入ったので買わないかという申し出であった。

まず私に話をかけてくれたことが嬉しく、さそく唾を吐けておいたのは言うまでもない。

伸松堂書店とは十年系のつきあいである。学生時代に帰化行政に関する資料を求めて、東京の神田、早稲田、本郷の古本屋街を漁り歩いたことがある。それこそ、資料をたずねて三ヶ里の行脚だ。そのなかで、東大赤門前の伸松堂は法務関係の行政資料の品揃えがいちばんだ。望の山に踏み込んだような気分になって、あちこちの本をかき回していると、括ってある雑誌をばりすたどったのが店主の成川敬義氏であった。

以来、東京に行ったおりにには店に寄ってシヤッ

ターを開けてもらい（日曜日は閉店している）、また在庫取りストの「伸松堂目録」によって、国籍、入管、指紋関係の資料を買って求めている。

いちど成川氏に、行政の部外秘資料をどうやって入手するのかと尋ねたところ、それは役人が地方へ転勤する情報こそばやくキヤツチし、引越荷物整理担当の奥さんに瘦りまつけて、蔵書をごっそりと購入するんだと、経営のノウハウの一端を教えてくれた。

伸松堂書店の他には、同じく東京の宗文館書店、都立書庫などの本屋に出版物が多く、新しい目録が送られてくるのが楽しみである。研究資料の流通、リサイクルの担い手である古本屋さんに、大いに頑張ってもらって、役所のマル秘文書をたくさん持ち出してほしい、そして我々に安く提供してもらいたいものだ。

研究会員の新作が出ました！

飯沼二郎「増補 農学革命論」45  
並徳、朴海錫訳、林鐘国著  
1945 二四〇頁、平沢社  
「朝鮮国史研究」45  
二四〇頁、平沢社

## ★ 研究会報告要旨

▲ 在日朝鮮人史研究会西部会(第八七回)例会(87.1.11日)

テーマ 四・二四教育闘争のC級裁判

鄭鉉斗氏の体験談を中心に

金 廣海

一九四八年にあった四・二四教育闘争は、在日している朝鮮人の世紀近くになる歴史上最も大きな出来ごとだった。なかつく、祖国解放後に起ったこの闘いは、在日朝鮮人が民族の存亡をかけた闘いだっただと云える。この闘いには、一世たちの生命をかけたの民族の誇り、魂をやりんとした高貴な民族精神が軋打っている。しかし、米軍領軍と権力側によって、多数の愛族者たちが犠牲になった。

神戸を中心とする兵庫県では、朝鮮県本部の朴柱範委員長は、これが原因で死去し、三九名が各種の裁判(A級II軍事委員会裁判に九名、うち二名に実刑判決、B級II一般軍事裁判では二名全員に実刑判決、C級II神戸地方裁判では一八名全員に実刑判決)を受けさせられた。鄭さんは、C級裁判にかけられ、同年五月十七日の地裁判決で、二ヶ月間の懲役刑で服役(實際は、百五日間もの入獄である)以下は、鄭氏の体験であ

私は、四月五日、県庁でつかまった。学校問題はすでにこの時期にはせっぱづまってきていたので、知事の方に善処してくれるようにたのむため面会を求めて、県下の代表らと一諸に行ったのだが、ろくに面会もせず、その日の夕方、私らを逮捕した。二四日、私らの代表りが県・市当局との交渉で学校問題等を勝ちとったので、十五日につかまった同昭りも全員釈放された。学校の存続が認められ、同昭りは大喜びだった。しかし、その日の夜中に非常事態宣言がなされ、朝鮮人狩が大がかりに行なわれた。朝鮮人ならば、老若男女にかわりなく、もちろん、私も。

神戸地裁での裁判では、検事側は、十五日に知事室から退去しなかつたこと、即ち、不退去罪だけを論じていたが、私たちは、そもそも事件の起った本質II朝鮮学校の存続、民族教育の必要性がこの事件の根底にあると反論した。だが、彼らは全く聞き入れず、不退去罪だけで判決を下した。

あの時、米軍や日本政府の命令通りに学校を閉鎖していたり、今の民族教育はもちろん、在日朝鮮人は、外国人としての諸権利がことごとく剝奪されていたのではなかつたか。

# 朝鮮民族運動史研究(第三回)例会報告(要旨)

テーマ 上海の国民代表者会議について

報告者 姜徳相

報告は一九二三年、上海で独立運動の再編、強化をめざした「国民代表會議」についてである。同大会の本國はもちろん、全世界に散在する独立運動の大集結、その力で抗日運動の再出発という意図がなせ失敗したのちにメスを入れて考え直したつもりである。

独立運動は七命政變たちが本来かかえていた地縁、血縁的對立が頻出し、一定の弱點となっていたが、一九二二・三年の敗戦になるとあらたな矛盾、即ち朝鮮民族が居住する各地域、各國家の國家エゴに民族、階級の利害が左右されるをないうごきが見えに現れた。とりわけ労働口シアの成立と舊國主義諸國の干渉戦争を経たシベリヤ地域の独立運動はソ連極東共和國及びコミンテルンの影響を受け、ソ連内での民族特權の伸長とひきかえに独立運動の民族獨立場と矛盾する關係を表面化したことが同大会の失敗の要因といえる。報告は、姜通亨、安昌若ら民族派政客の立場との相異に視点をあいた。

## 新 著 四 冊 特 別 招 介

| 毎日新聞(新)報 |       |          | 日本人の海外活動に関する歴史資料 |  |      |
|----------|-------|----------|------------------|--|------|
| 巻        | 通巻    | 地        | 分冊               |  |      |
| 1        | 1冊    | 総目録、総論   |                  |  |      |
| 2        | 2~6   | 朝鮮篇      | 1-5              |  |      |
| 3        | 7-11  | "        | 6-11             |  |      |
| 4        | 12-14 | 台湾篇      | 1-3              |  |      |
| 5        | 15-17 | "        | 4-6              |  | (12) |
| 6        | 17    | "        | 6(3)             |  |      |
| 7        | 18-21 | 樺太、南洋群島篇 | 1-2              |  |      |
| 8        | 22-23 | 満州篇      | 1-2              |  |      |
| 9        | 24-25 | "        | 3-4              |  |      |
| 10       | 26-28 | 北支、中南支篇  | 1-2              |  |      |
| 11       | 29-31 | 越南篇、南方篇  | 1-2              |  |      |
| 12       | 32-35 | 南方篇続、欧米篇 | 3                |  |      |

新着図書案内

- ◆ 新刊 朝鮮の種族性 朴正基著 서울 韓國研究院 86. 10  
A 5. 三二五頁
- ◆ 発展途上地域日本語文獻目録(九八五) 東京大学経済研究所  
所編集発行 86. 11. B 5. 二四五頁
- ◆ 日本人の海外活動に関する歴史の調査(影印全一二巻)  
高麗書編集発行 85. 6 A 5
- ◆ 江原道史 先史文化 晉川 翰林大学아사아연구소編集発行  
86. 12 A 3. 一七八頁
- ◆ 朝鮮族簡史 朝鮮族簡史編纂室編 延世人民出版社 86. 12  
A 5. 二五六頁
- ◆ 延世朝鮮族自治州概況 延世朝鮮族自治州概況編纂組編  
延世人民出版社 86. 11. A 5. 二五一頁
- ◆ 石 韓語訳本 三三三頁
- ◆ ソウル城下に漢江は流れる 林鍾國著 姜徳相他訳 東京  
平凡社 87. 1 A 5 二三九頁
- ◆ 日本領事報告の研究 角山紫編著 東京 同文館出版社
- ◆ 朝鮮(影印一巻一八九巻) 高麗書編集

- ◆ 朝鮮の民間流布初学入門書目録 東京中央大学図書館 86. 10
- ◆ 佛教関係論文集 黄銀敦著 서울 弘文文化社 85
- ◆ 植民地朝鮮における日本銀行従業員連 韓国モスクワ十者  
東京 植民地友会 年号不明 B 5. 二二五頁
- ◆ 한국기독교외교인물연구 이만열외 서울 보성 82. 15
- ◆ 朝鮮語圖書目録(東京都中央図書館蔵) 86. 25 98頁
- ◆ 南山圖書館六十年史(一) 서울特別市南山圖書館史編  
纂委員会 82年 A 5 二五一頁

★ 研究案内

- (一) 在日朝鮮人運動史研究関西部会(第八回)例会  
日時 一九八七年二月八日(日)午後二時  
テーマ 父 KOREA (長延社)も出版して  
報告者 郭 早苗氏
- (二) 朝鮮民族運動史研究(第六五回)例会  
日時 一九八七年二月二一日(土)午後三時  
テーマ 「朝鮮アナキズム運動史」  
報告者 堀江 悦氏

※ 掲載はいつれも青丘文庫にて